

## 取付・取扱説明書

### はじめに

この度は、D-SPORT フロアフレームバーをお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書は、フロアフレームバーの取付取り扱いについての要領と注意を記載してあります。安全に正しく装着していただくために、装着作業前にこの取付・取扱説明書を最後までお読みいただき、装着上の注意事項、本フロアフレームバーの性能などについて充分にご理解の上、正しく使用していただくようお願いいたします。なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

**本製品は、日本国内での使用を目的として開発されたものです。海外では、ご使用にならないで下さい。**  
**This product is designed for use in japan only. It must not be use in any other country.**

### 適応車種

※作業をはじめる前に適応車種と品番が合っているか確認してください。

車名	グレード	適応年式	品番
COPEN	L880K	2002年6月～	57502-E080

### 構成部品

※作業をはじめる前に構成部品がそろっているか確認してください。

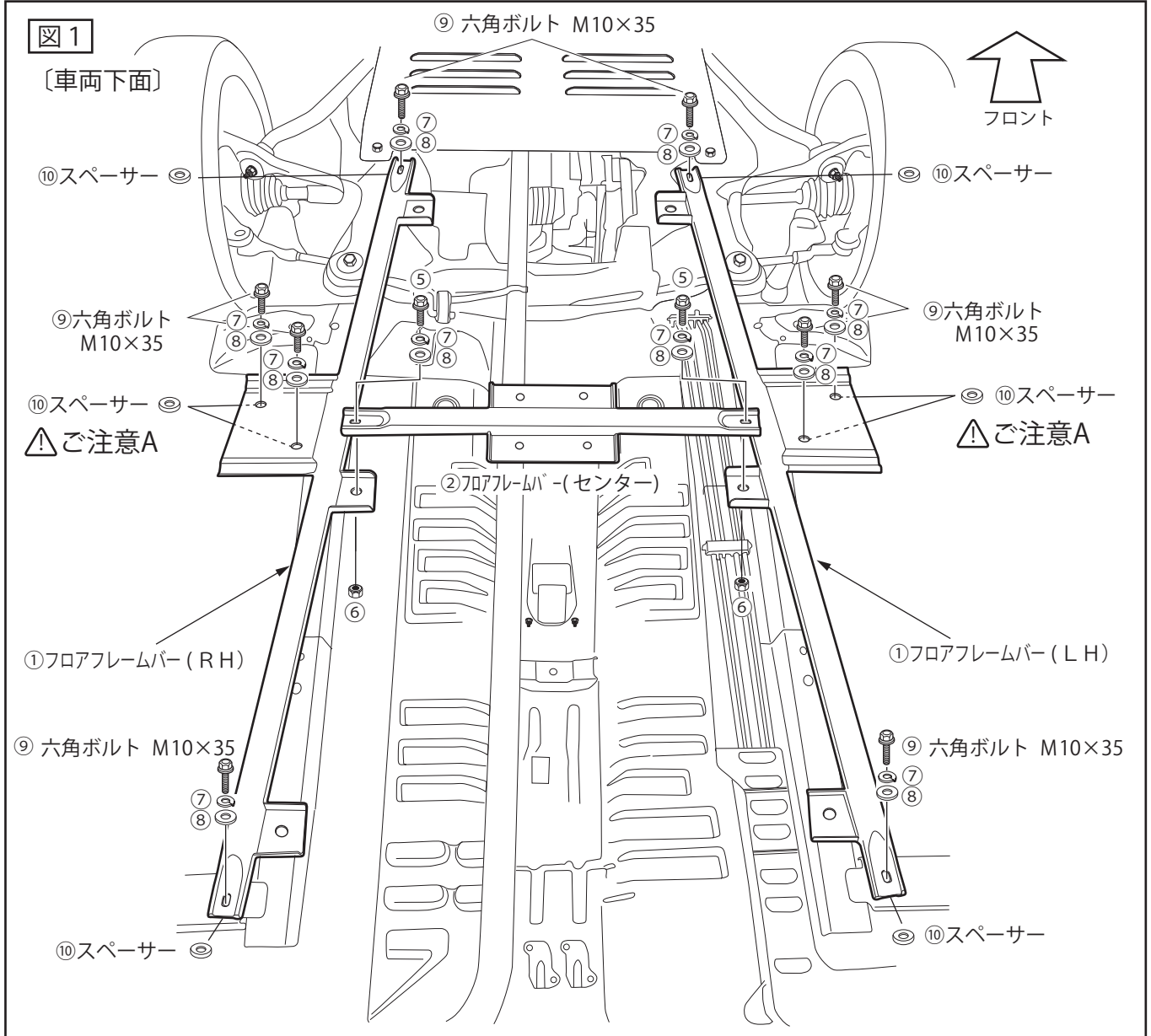
Nb.	部品名	数量	Nb.	部品名	数量
①	フロアフレームバー (LH/RH)	各1	⑤	六角ボルト M10×25	10
			⑥	フランジナット M10	10
②	フロアフレームバー (センター)	1	⑦	スプリングワッシャー M10	18
③	フロアフレームバー (フロント)	1	⑧	平ワッシャー M10	18
			⑨	六角ボルト M10×35	8
④	フロアフレームバー (リア)	1	⑩	スペーサー 9mm厚	8

### 取付上の注意事項

- 本文中の **△ご注意** を守って作業してください。もし **△ご注意** を無視して取付けると製品の機能を阻害するばかりでなく、車両故障や事故につながる恐れがあります。
- 本書で指示した以外の車両部品を取外さないでください。
- △ご注意** 本製品の車体への組み付けは、必ず資格のある認証工場で行ってください。
- △ご注意** 車種別設計になっておりますので、適応車種以外の車両には絶対に使用しないでください。
- △ご注意** 本製品を改造しての取付は絶対に行なわないでください。
- △ご注意** 交換時はエンジンを停止して冷却を確認してから作業してください。
- △ご注意** 取付作業終了後は必ず、作業後の確認作業をご使用前に行ってください。  
 確認作業で不具合が確認された場合は、そのままでの使用は絶対にしないでください。
- △ご注意** 日常点検を実施し、必要に応じて増し締めをしてください。

※組み付け不良により発生した破損事故等について、当社は一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

## 取付方法



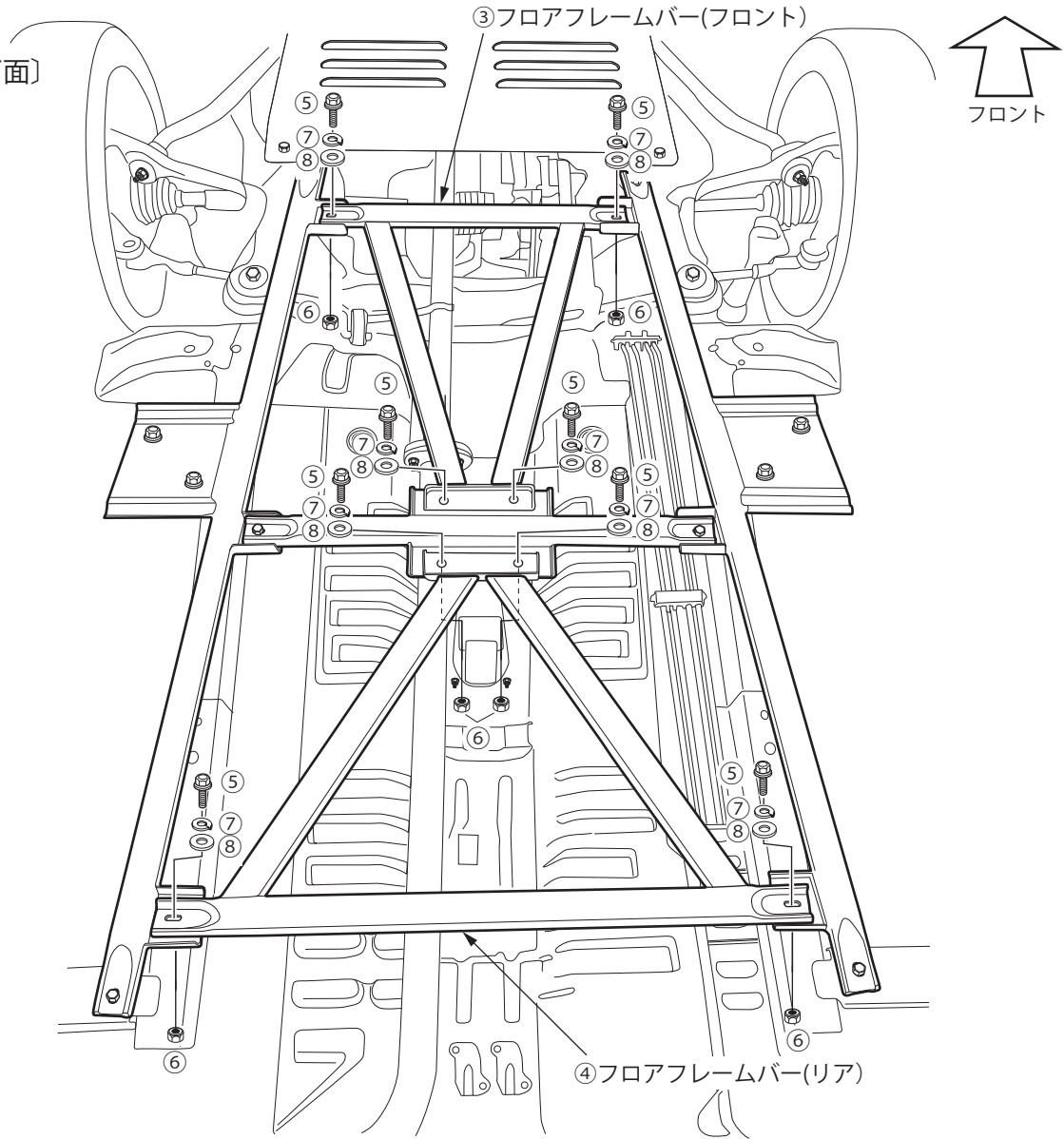
1. 車両をリフトアップまたはジャッキアップしてリジッドラックにのせます。
2. 車両から既存のクロスバーを取り外してください。
3. 図1を参照して、①フロアフレームバー(LH/RH)を⑨六角ボルトM10×35、⑦スプリングワッシャー、⑧平ワッシャー、⑩スペーサーにて仮固定してください。
4. 図1を参照して、②フロアフレームバー(センター)を⑤六角ボルトM10×25、⑥フランジナット、⑦スプリングワッシャー、⑧平ワッシャーにて仮固定してください。

### ⚠ ご注意A

サイドシル補強バー[57400-B080]を装着の車両には  
スペーサーは不要となります。スペーサーを使用せず取付して下さい。

図2

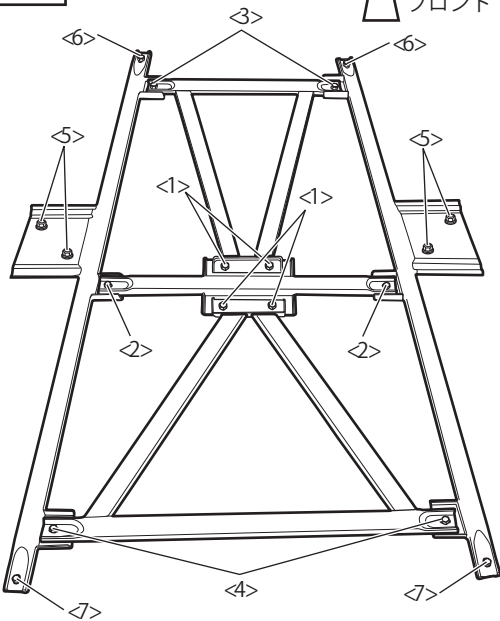
〔車両下面〕



↑  
フロント

図3 〔本締付け順序〕

↑  
フロント



締付けトルク： 45 N/m

5. 図2を参照して、③フロアフレームバー(フロント)を①フロアフレームバー(LH/RH)及び、②フロアフレームバー(センター)に⑤六角ボルトM10x25、⑥フランジナット、⑦スプリングワッシャー、⑧平ワッシャーにて仮固定して下さい。

6. 図2を参照して、④フロアフレームバー(リア)を①フロアフレームバー(LH/RH)及び、②フロアフレームバー(センター)に⑤六角ボルトM10x25、⑥フランジナット、⑦スプリングワッシャー、⑧平ワッシャーにて仮固定して下さい。

7. ①～④全てのバーの組みつけに無理はないか、全体のバランスを確認して、仮固定した各ボルト・ナットを図3の順番に指定の締め付けトルクにて確実に締め付けて下さい。

⚠ ご注意

●必ず指定のトルクにて確実に締め付けてください。